

## 公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども支援センター スマイル		
○保護者評価実施期間	2024年10月21日		～ 2024年11月16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数) 31
○従業者評価実施期間	2024年11月25日		～ 2024年11月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	給食提供をしていることや、通園先(こども園・幼稚園・保育園)やご家庭での生活課題に合わせて支援ができてきていること。	給食提供時にはお子様に合わせて食材を刻むなどしています。また、食具の使い方の支援ができています。家庭や通園先で困っている課題がクリアできるよう丁寧なかわりし、できた時にはその過程をフィードバックしている。	お子様の現状や保護者の方や通園先の先生からの要望を元に支援計画をしっかりと立てていく。また、職員によって支援方法にばらつきがないよう情報共有をしっかりと行っていく。
2	事業所の利用時の様子や支援内容のフィードバックを行っていることや、ご家庭や通園先での様子を共有している。	送迎時に個々へ対してのフィードバックを行っていることや、その日の活動のねらいや支援中の様子をコドモンアプリを通して毎日配信している。ご家庭や通園先の様子も共有しながら支援している。	利用時だけでなく、相談があるときには「家庭支援」の形でお受けしています。保護者の方との情報共有を丁寧に行い寄り添いながら連携しより良い支援につなげていく。
3	集団療育の事業所ではあるが、お子様の発達段階に合わせて支援内容を工夫して提供していること。	集団療育ではあるが、身辺自立に向け個々に合わせたかわりや、制作や運動時などそれぞれの課題に合わせて支援している。	職員全員で活動設定を考え意見交換することを増やしていく。また、10人定員ではあるが、5人づつなどの小集団にし発達段階に合わせた支援を提供できる環境作りに努める。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育園やこども園、幼稚園等との交流や、地域中での活動参加がほとんどなく難しいこと。	活動の中で子育てセンターの利用や近くの公園、加古川駅付近まで商店街の中を散歩するなどしていますが、安全に考慮して外出時に必要な職員数でない判断し積極的に行っていないこと。	イベント開催の中で地域の方とのふれあいや、同世代との交流の場ができるよう積極的に取り組んでいきたい。また、普段から保育園やこども園、幼稚園との地域連携の強化も努めていく。
2	限られた空間中であるので、クールダウンの場所の提供がしにくいこと。また、契約駐車場があり駐車料金は無料ですが事業所の前になく少し離れていること。	療育室を扉で区切り2空間にはなるが、個室が相談室と事務所のみである事で使用中には使えないこと。立地状況(寺家町商店街の中)にあること。	安全面に考慮してパーティションの使用なども検討していく。契約駐車場よりも近いコインパーキングを利用してもらいその際の駐車料金は事業所負担としているが、状況に合わせて職員が駐車場まで出向くなど保護者負担の軽減に努める。
3	保護者の方の交流の場の開催が不定期であり少ないこと。	いろんな感染症に慎重に配慮していることに加え、年間の行事設定が行えていないことで、保護者の方が参加しにくい状況になっている。	茶話会や参観型の季節の行事は行っていますが、保護者の方へのアンケートにて、イベントの希望テーマなどを反映できるように努める。

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こども支援センタースマイル

公表日 令和7年1月21日

利用児童

数 2024/11/16 (35人)

回収数 31人

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	94%	3%	0%	3%	園庭のように室外でも活動できるスペースがあれば良いなと思いました。	事業所の近くに公園がありますので、天気や気候の良いときには戶外遊びを積極的に取り入れていけたらと考えています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	90%	0%	0%	10%		今後も継続して活動内容に応じた人数配置を行っていきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	97%	0%	0%	3%		事業所内はバリアフリー化の構造になっています。子どもたちが視覚的に気になるものは外してシンプルな環境作りを心がけています。また、写真やイラストなどで視覚的にわかりやすくしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	94%	0%	0%	6%		毎日清掃し、活動に使うもの（椅子や机、玩具等）はアルコール消毒をして24時間換気を実施しています。活動に最適な空間作りを心がけています。床暖房も完備しており、冬場でも裸足で過ごすことができます。
適切 な支 援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	97%	0%	0%	3%		10人定員ですが、5人づつなど発達段階に合わせてさらに小集団のグループにして活動するなど特性に合わせた支援が提供できるよう工夫しています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	97%	0%	0%	3%		子どもたちが楽しいと感じて活動ができるように日々工夫しながら行っています。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画や放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		今後も継続してアセスメントを行い、保護者の方と一緒に今後の課題や支援方針を検討していきます。
	8 児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		個別支援計画はお子様や保護者の方のニーズに基づいてできるだけ分かりやすい内容で目標を設定し、具体的な支援計画を記載するように心がけています。
	9 児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）に沿った支援が行われていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		個別支援計画の内容については職員全体のミーティング等を通して共有して支援計画に基づいて支援を行うようにしています。また、一人ひとりの特性や興味、取り組みの内容に合わせて支援方法を職員間で話し合ってお互いに実施するようにしています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	94%	0%	0%	6%		毎月活動や課題のテーマに沿ったプログラムを検討し、担当者を決めてチーム全体で活動内容の工夫に努めています。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	48%	10%	3%	39%		現在保育所等との交流はありますが、子育てプラザ等の地域の子どもたちが集まる場に積極的に出かける機会を作るように努めます。
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%	0%	0%	0%		支援内容、利用者負担等については、見学や契約時に説明しています。また、保護者の方から質問があった場合にはその都度担当から説明をするようにしています。	
13 「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%	0%	0%	0%		作成した支援計画については面談や送迎時に説明を行っています。	
14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	94%	0%	0%	6%		年1回未就学の保護者の方を対象にペアレントトレーニングを開催しています。	

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達 の状況について共通理解ができていると思いますか。	94%	6%	0%	0%		送迎時にその日の様子や活動への取 組み等についてお伝えをしています。 ご家庭での様子についても必要に応じ て送迎時に聞き取りを行い、共有理解 を心がけています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われています か。	94%	3%	0%	3%		電話相談や必要に応じた個別相談を随 時行っており、解決に向けたサポート ができるように努めています。また定 期的にモニタリングを行い、現状の把 握や問題解決に向けての助言を行っ ています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	94%	0%	0%	6%		今後も保護者の方のご相談に応じて寄 り添いながら家庭への支援も行って いきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同 士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、 きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の 交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていま すか。	84%	10%	0%	6%		今年度も茶話会を実施しました。今後 も保護者の方同士の交流の場の機会を 設けられるよう努めます。また、ご兄 弟に関してのご相談もお聞きし対応し ていきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備され ているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があること について周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に 対応されていますか。	97%	3%	0%	0%		電話相談や必要に応じた個別相談を随 時行っており、解決に向けたサポート ができるように努めています。また定 期的にモニタリングを行い、現状の把 握や問題解決に向けての助言を行っ ています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされて いると思いますか。	97%	3%	0%	0%		送迎の際に一日の様子や取り組んだ活 動内容を伝えていきます。また、事業所 側から、現状のお困りごとなどが無い かお声かけをしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連 絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者 に対して発信されていますか。	97%	3%	0%	0%	写真が大きくなるよう、見やすくな るようになったら更にありがたい。	毎月園だよりを発行し、活動内容や行 事予定、連絡事項と共に、活動の様 子がわかるように掲載しています。ま た、日々の活動内容や様子についても コドモンにて毎日配信するようにして います。ホームページと連動したSNS の活用を積極的に行うよう努めます。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	97%	0%	0%	3%		契約時に保護者の方に個人情報同意書 を記入していただいています。個人情報 等の取り扱いについては、他者の目 に触れる事がないよう十分に注意徹底 しています。	
非常時等の 対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マ ニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説 明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されています か。	84%	10%	0%	6%		各マニュアルを作成し、マニュアルは 職員がいつでも閲覧できるように事務 所内に提示しています。保護者の方 には、緊急時の避難場所や対応のお知 らせをしています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必 要な訓練が行われていますか。	81%	6%	0%	13%		火災、地震、不審者侵入、洪水のい ずれかを想定した避難訓練を実施して います。また、子どもたちと一緒に実 施の避難場所へのルート確認等も行っ ています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知され る等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思 いますか。	91%	6%	0%	3%		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連 絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思 いますか。	94%	3%	0%	3%		お子様の利用中に発生した不慮の事故 や怪我に関して速やかに保護者の方へ ご説明をさせていただいています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	97%	3%	0%	0%	不安が強い子のため、行き渋りがあ りますが、先生方には温かく迎え入 れていただけているのが対応には 満足しています。	お子様だけでなく保護者の方にも安心 して利用していただけるよう今後も努 めていきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	91%	6%	0%	3%	少しづつ慣れていけるよう親子で頑 張ります。	初めて利用される時には不安もある と思いますが、なるべく早く不安感 を取り除けるよう、信頼関係作り に努めています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	97%	3%	0%	0%	送迎もあるとさらにありがたい。	送迎に関してはなるべく要望にお 応えできるように体制作りに努めて います。

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	こども支援センタースマイル				公表日	令和7年1月21日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	お子様の状況や活動内容に合わせて部屋を区切って使用したり、限られたスペースではありますが、刺激を調節するなどの工夫をしています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	33%	67%		低年齢や特性が顕著である利用児の増加に伴い、利用児に対して安全で適切な支援を行うため、職員の配置数を状況に応じ増やしてほしい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	100%	玄関先は階段とスロープがあります。室内はバリアフリーとなっています。安全に考慮し必要に応じて職員が対応しています。	施設の老朽化が見られるので改善してほしい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	100%	毎日の掃除や定期的な整理整頓、玩具や支援グッズの消毒、24時間換気など清潔な環境づくりに努めています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	100%		クールダウンできる場所があればと思う。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	50%	50%	毎日事前、事後のミーティングがなされている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	100%	保護者の方から頂いたご意見を真摯に受け止め、事業所内で共有をしながら事業所運営の向上や業務改善に努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	100%	毎月職員全員で全体ミーティングが行われている中で意見交換や情報共有を図り、業務改善につなげています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	67%	33%	本年度は法令改定により外部評価を行いました。今後の業務改善につなげています。	外部評価結果を職員全員が周知できるように努める。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	100%	ペアレントトレーニングの講座内容もその都度全体周知となっており、支援の振り返りや改善につながっていると思う。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	100%	支援内容やその結果、また改善すべき点など職員間で共有しており、お子様の発達支援の向上を目的としたプログラムの作成に努めています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成しているか。	100%	100%	保護者の方へのアセスメント内容とともに利用中の様子を共有しながら分析した計画作りに努めています。	
	13	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	67%	33%	保護者からのアセスメント内容や、担当者会議の報告などできるだけ職員全員に内容周知できるように努めている。	情報共有を積極的に行い、共通理解につながるように努める。
	14	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	83%	17%	アセスメントや担当者会議の内容や今後の方針を職員間で情報共有に努めています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	100%		お子様の行動や発達状況、今後の課題など職員全員がリアルタイムで周知できるように視覚的にわかりやすいように提示できるように工夫が必要と思われるので改善していきたい。

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	100%	「本人支援」は5領域の視点で支援目標を設定しています。また、「家族支援」「移行支援」「地域支援・地域連携」に関しては保護者の方やお子様の状況を確認・分析し関係機関と共有できるように努めています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	67%	33%	職員によってかかわり方にばらつきがないように支援方法の共有をしています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	83%	17%	同じプログラムであっても利用者の発達段階に合わせて柔軟に対応しています。また、子供たちが楽しいと感じられる活動が提供できるように職員間で工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	100%	100%		言語療法や作業療法は個別で受けていただいておりますが、5人程度の小集団にして専門的な支援提供できる機会をもっと増やして行くことに努めています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	100%	毎日行われている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	100%	毎日行われている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	100%	かかわり方の変更や改善すべき点など情報共有できていると思う。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	83%	17%	モニタリングを実施し保護者の方のニーズやお子様の状況に合わせて見直しを図っています。	
	24	【放デイのみ】放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。				
25	【放デイのみ】こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。					
関係	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	83%	17%	主に児発管が担当者会議には出席しています。相談支援事業所への電話での対応などはお子様の状況がよくわかる職員が対応することもあります。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	100%	保護者の方からや園の先生からの要望があれば、ご相談等に応じ園訪問も行い支援の連携体制を整えています。	
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	33%	67%		職員全員の支援の質の向上につながるよう、また偏った支援になるのを防ぐためにもそのような機会を設けていくべきだと思う。
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	67%	33%		安全を保ちながら、もっと交流ができるようにしていくことも必要だと思う。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	100%	保護者の方を通して園やご家庭での様子を確認したり、事業所でのお子様の頑張る姿、また支援内容のフィードバックを行い共通理解につながるよう努めています。	
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	100%	本年度もペアレントトレーニングを行った。参加された保護者の方は家庭でのかかわり方が良い方向に変化されていると思う。	

機 関 や 保 護 者 と の 連 携	32	【 <b>児発事業所・児発センターのみ</b> 】併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	100%	園の先生方からのご相談にも対応しており、訪問もしている。また、その内容を職員間で共有できていると思う。
	33	【 <b>児発事業所・児発センターのみ</b> 】就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	100%	本年度は特別支援学校入学を控えたお子様に対して学校との情報共有や入学までのサポートを行っています。
	34	【 <b>児発センターのみ</b> 】地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	35	【 <b>児発センターのみ</b> 】質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	36	【 <b>児発センターのみ</b> 】(自立支援)協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	37	【 <b>放デイのみ</b> 】学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。			
	38	【 <b>放デイのみ</b> 】就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。			
	39	【 <b>放デイのみ</b> 】学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。			
	40	【 <b>放デイのみ</b> 】(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。			
	保 護 者 へ の 説 明 等	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	100%
42		児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	100%	お子様の発達状況や保護者の方のニーズを伺い確認しながら支援計画の作成に努めています。
43		「児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	100%	作成した児童発達支援計画書を読み上げながら説明し、変更点がなければ計画の同意を得ています。
44		定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	100%	モニタリング時だけでなく随時、ご相談には対応しています。
45		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	100%	茶話会や季節行事への参加、またペアレントトレーニングなど保護者同士で交流できる機会を設けています。
46		こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	100%	ご相談や申し入れがあった時には真摯に受け止め管理者とも相談し迅速に対応できるように努めています。
47		定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	100%	毎月のスマイル便りやコドモンアプリの活用にて日々の活動内容や様子を発信しています。ホームページと連携しているインスタグラムも今後積極的に活用していきます。
48		個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	100%	利用者の個人記録や重要書類など個人情報の取り扱いには細心の注意を払って管理しています。
49		障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	100%	必要に応じて写真やイラストや文字など視覚的にも提示しながらわかりやすく情報提供ができるように努めています。

	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	50%	50%		子育てプラザを利用することはありますが、今以上に地域の行事参加など安全に配慮しながら行っていけるように努めます。
	51	【放デイのみ】家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。				
非常時等の対応	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	83%	17%	マニュアル策定しています。職員には全体ミーティング時に周知しています。保護者の方には契約時にご説明をさせていただきます。	
	53	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	83%	17%	BCPの策定をしています。各項目内容の周知と訓練に努めています。	
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	100%	保護者の方から詳しく情報収集をし対応しています。職員間でも情報共有し注意しながら対応しています。	
	55	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	100%	現在、食物アレルギーのお子様の利用がありませんが、給食やおやつ提供の際は、低年齢の子など初めて食べる食材などには注意しながら提供しています。	
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	67%	33%	安全計画は策定済みです。	
	57	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	83%	17%	契約時に説明をしています。	
	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	100%	ヒヤリハットの作成をその都度しており、再発防止の為に職員間で共有しています。	
	59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	100%	虐待防止委員会を設置しています。また、虐待防止についての研修の機会の確保を図っています。	
	60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	83%	17%	職員全員が身体拘束についての研修をし周知・理解をしています。	